

令和 8 年度 4 月号

# らいぶらいーにゅーす



しりつひがしみやししたしょうがっこうとしょかん  
さいたま市立東宮下小学校図書館

しんがつき はじ にゆうがく しんきゅう がっこう まいにちたの  
新学期が始まりました。入学・進級おめでとうございます。学校は毎日楽しいですか？  
がっき さいしょ はじ きんちょう おお おも  
1学期の最初は初めてのこともたくさんあって、ちょっと緊張することも多いと思います。  
そんなとき がっこうとしょかん へ き がっこうとしょかん  
そんな時は学校図書館へ来てみませんか。学校図書館でゆったり過ごしてみてください。  
こんねんど がっこうとしょかん じどう みな たの ほん で あ ばしょ  
今年度も学校図書館が児童の皆さんにとって楽しい本との出会いの場所になるようにしてい  
きたいと思います。

## 「本の城」と「本のワンダーランド」



ひがしみやししたしょうがっこう ほん しろ ほん がっこうとしょかん  
東宮下小学校には「本の城」と「本のワンダーランド」という2つの学校図書館がありま  
す。おお きょうしついっこばん おな ほん おも  
す。大きさは、どちらもだいたい教室一個分と同じです。「本のワンダーランド」には、主に1・  
ねんせい えほん ようねんどうわ ちしき ほん  
2年生むけの絵本、幼年童話、知識の本があります。ゆっくりくつろいで本が読めるようにたた  
み の へや になっ て い ま す。3年生以上も利用できます。

ほん しろ ちゅうがくねんむ ほん いちぶ いっぱんしよ としよかん ほん  
「本の城」には、中学年向けの本から（一部）一般書があります。2つの図書館の本をあわせ  
るとおよそ9000冊になります。

## 「東宮下 本の城 本のワンダーランド」 5つのおやくそく

1. しずかにします。
2. きれいなてで よみます。
3. ほんを たいせつにします。
4. ほんを もとのばしょに もどします。
5. かえすひを まもります。



## ◆◆◆◆ オリエンテーション ◆◆◆◆

がつけゅう がくねん おこな がっこうとしょかん りようほうほう ほん  
4月中にすべての学年でオリエンテーションを行いました。学校図書館の利用方法や本の  
なら かた かくにん かしたし はじ まも きも がっこうとしょかん  
並び方などの確認をして貸出が始まります。マナーを守って、みんなで気持ちよく学校図書館  
をりよう してしよ  
を利用しましょう。わからないことは、いつでも司書にきいてくださいね。（今年度もかたの  
ししよ つと ねが  
司書を務めます。よろしくお願ひします。）

# としょいいんかい 図書委員会



4年生～6年生の14名で活動を進めていきます。1年間よろしくお願ひします。

全校の児童の皆さんに学校図書館にあるいろいろな本をたくさん読んでもらい、本を好きになつてもらえるように、図書委員全員で協力して工夫をしながら活動していきます。休み時間の貸出や返却、本の配架の当番の仕事を引きもちに行います。

まず、1年生におすすめの本を選び、紹介するポスターを作成中です。1年生の皆さん、ぜひそれを見て本を読んでみてください。お楽しみに！

## こ ども 読 書 の 日



4月23日は「子ども読書の日」。子どもの読書活動について、周りの大人が関心を持ちその大切さへの理解を深めるとともに、子どもが楽しく、進んで本を手に取り読書できるようになるために、2001年「子どもの読書活動の推進に関する法律」によって制定されました。また4月23日から5月12日は「こどもの読書週間」です。今年の標語は「ことばがきみのはねになる」です。「本の城」「本のワンダーランド」では言葉や本、読書、図書館をテーマにした本を展示しています。おすすめの本を紹介しします。



### 『なにもなくても』織田道代／作 福音館書店(807)【ランド】

ことばあそびは、おもちゃやどうぐがなくても、いつでも、どこでも、はじめられます。しりとり、あたまとり、ぬきことば、さかだちことば、なぞなぞ、まねことば。ことばあそびの楽しさがぎゅっとつまった本です。さあ、ともだちといっしょにやってみよう！

### 『ふたりはとっても本がすき』如月かずき／作 小峰書店(913)【ランド】

チーターのチッタちゃんとカバのヒッポくんは本が大すき。図書館でかりた本を次々とすごいスピードで読んでいくチッタちゃんと1冊の本をゆーっくりじっくり読むヒッポくん。あなたはどちらのタイプですか？



### 『ぼくは本のお医者さん』深山さくら／文 佼成出版社(022)【城】

齋藤英世さんは製本業を営みながら、「ブックスドクター」としてこれまで五千冊もの本の修理をしてきました。齋藤さんの半生をたどりながら、本の修理の実際、修理の依頼者や齋藤さんの本に寄せる様々な思いが紹介されています。本を大切に思う気持ちにあふれた1冊です。

### 『図書委員は泣かない』小松原宏子／著 講談社(913)【城】\*

ホン子こと本田シオリは、自他ともに認める本好き。4年生になって図書委員になれて大満足の日々を送っています。ある日の放課後、図書室にやってきた2年生のユウキに『おかえし』という絵本を読んであげると、毎日のように同じ絵本を読んでもらいにやってくるようになります。それには実は理由があって・・・。



ちょっぴり切ない、「青空小学校いろいろ委員会」シリーズの5巻目です。

\* → シリーズのおはなしがあります。

【城】 → 「本の城」にあります。【ランド】 → 「本のワンダーランド」にあります。